

真宗大谷派 存明寺通信

No.203

2021年(仏歴2552年)9月1日発行

★秋のお彼岸ひがん法要

日時 **9月23日(木・秋分の日)**

午前11時～12時

内容 正信偈の唱和・門徒感話・法話

お話 存明寺門徒有志と酒井義一住職

★親鸞しんらんにつどろほうおんこうう報恩講法要

日時 **11月3日(水・文化の日)**

午前10時～12時

内容 報恩講法要・門徒感話・法話

お話 存明寺門徒有志と酒井義一住職

右の2つの法要のご参詣方法は、
オンラインZOOM、またはお寺に生参加です。



オンラインZOOMでのご参詣は
←左のQRコード、または
↓下記のURLからお入り下さい。
存明寺のHPからも入室可能です。
(会費無料・申し込み不要)

<https://qr.paps.jp/JsvkY>

ミーティングID: 996 9885 4678 パスコード: 102266

※当日に入室できない場合は、お寺までお電話ください。

コロナの先を見すえて

— 教えに出遇う歩み —



酒井 義一

空しさは
本当に生きたいという
いのちの叫び

(お寺の掲示板7月より)

新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。感染者は過去最多を更新し続け、医療体制は逼迫していると報道されています。

人々の間には、感染への不安が広がっています。長引く自粛生活によって、人と人との交流は消え、つらく厳しい現実があります。

お寺でも、諸活動が中止や延期となり、今まで脈々と受け継いできた聞法のつどいや、人との触れ合いが分断されています。

今、人々の中には闇が広がっています。人との分断やふれあいの無さや思い通りにはならない現実の中で、人々は孤独や不安や悲しみを抱えています。

しかし、だからこそというべきでしょうか、人々はコロナによっても決して消えない、人と人との出会いやぬくもりを求めています。本当に生きたいといういのちの叫びが、人々の中に確かに響いているのではないのでしょうか。

世の中が悪世であればあるほど
本願は光ってくるのです

これは、親鸞しんらんの教えに生きた仲野良俊先生の言葉です。世の中が悪世であればあるほど、本願（仏さまの願い）は光を放ち、人間を照らしていくというのです。今、世の中はまるで悪世です。しかし悪世だからこそ、ますます本願は光り輝いてくる。それは言葉をかえれば、今こそ光り輝く本願に出遇う時を迎えた、ということなのではないでしょうか。

コロナの収束がいつになるのか、

今の状況ではまったく先が見えませんが、コロナはいつか必ず落ち着くことでしょう。その時は必ずやってくるのです。その時になつて、何もすることができず、浄土真宗の灯ともが自然消滅していくことは避けなければなりません。そうならないために、コロナの先を見すえて、真宗復興へのウォーミングアップをしていきたいと思

います。それは分断から再生という動きです。断ち切られたつながりを再びつなぐ営みです。ちなみにそれは、今を生きるすべての人間が本質的に願っていることでもあらずです。

大切にしたいことは、コロナによって露わになった人間の分断・孤立・閉塞した状況から、仏法を中心とした、あたたかな血の通ったサンガ（人間関係を再生することです。そして、生き生きとした浄土真宗の世界を再生していくこととです。

思いつくままにコロナの先を見すえた動きを妄想してみます。例

えば、長い間出来なかったお寺での生の聞法会と生の懇親会を行ってみる。教えに触れる連続法話教室をしてみる。おとな食堂を再開してみる。自坊でご門徒と共に「慶讃法要」(親鸞誕生850年立教開宗800年法要)を厳修してみる、などなど。

2023年はご本山の慶讃法要、そして時期は未定ですが、ここ存明寺でも慶讃法要をお勤めしたいと思っています。それは、分断された人間関係の再生、教えと出遇う歩みの実践です。

今はそのためのウォーミングアップの時。そして、人と人とのふれあいをイメージする時。コロナの先を見すえて、しっかりと歩むべき時が、今なのです。そう自分に言い聞かせています。了



お寺の掲示板（選）

■ 人生の

あらゆる出来事が

あなた

目覚めなさい

ということを呼びかけている

（平野 修）

■ がんばらない

でも

あきらめない

■ コロナという時代を

悔いなく

精一杯

生きていきたい

それが

全人類共通の

心の底からの叫び

■ ご法事とは

その人を

思い起こすということ

語り継ぐということ

忘れないと

誓うということ

■ 亡き人を 拝む私が

亡き人から 拝まれている

■ 人は親を亡くして

親を知り

親を亡くして

親と出会う

■ 自分さえよければ それでいい

この悲しき

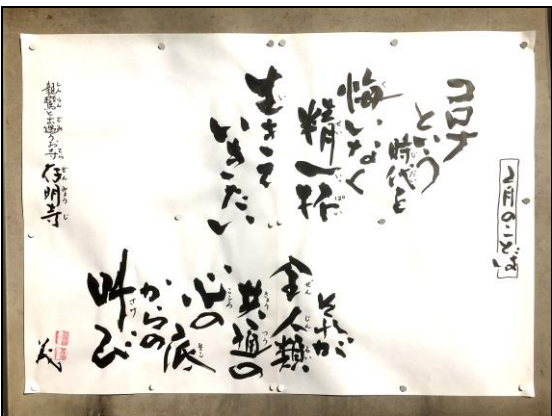
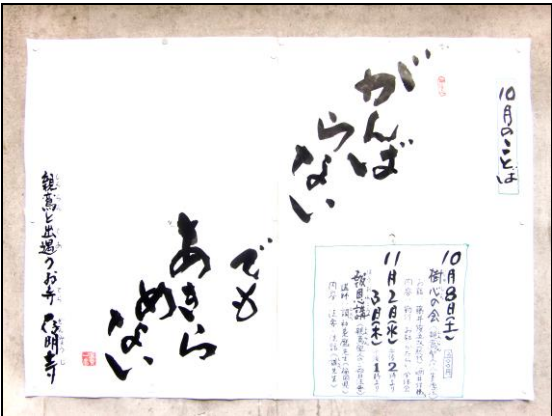
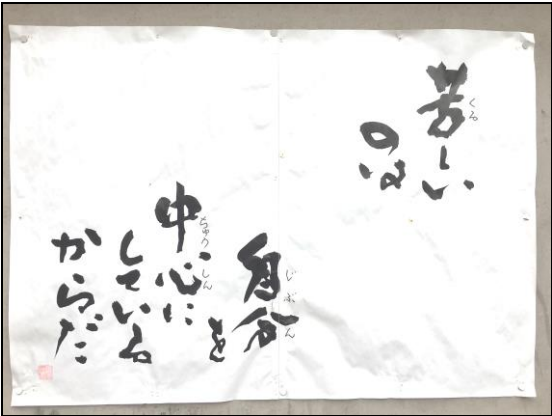
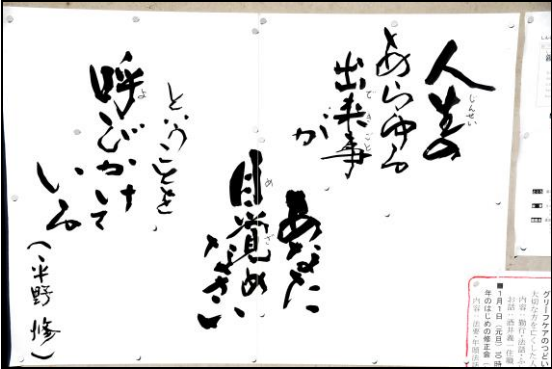
■ ただ亡くなったのではない

その人は大切ないのちを

生きた人なのだ

（佐野明弘）

お寺の掲示板（選）



お寺のひろば 2021年(令和3年)

お寺のひろば 2021

- 9月11日(土) 14時 樹心の会
内容：勤行・お話・語り合い
お話：高橋昭彦さん&酒井義一住職
 - 9月17日(金) 13時 おそらじの日
内容：法要とお話
お話：門徒有志と酒井義一住職
 - 9月23日(木) 11時のみ 秋のお彼岸法要
人数制限(10名程度)の上、実施します。
 - 9月25日(土) 14時 グリーフケアのつどい
人数制限(10名程度)の上、実施します。
 - 10月9日(土) 14時 樹心の会
内容：勤行・お話・語り合い
お話：山口明雄さん&酒井義一住職
 - 10月29日(金) 10時 おみがきのつどい
仏具のおみがきと清掃のつどい
 - 11月2日(水) 14時 報恩講のゆりど 中止
3日(水) 10時~12時 報恩講法要
内容：報恩講法要・門徒感話・法話
お話：門徒有志と酒井義一住職
 - 11月13日(土) 14時 樹心の会
内容：勤行・お話・語り合い
お話：谷垂矢子さん&酒井義一住職
 - 12月4日(土) 14時 グリーフケアのつどい
人数制限(10名程度)の上、実施します。
 - 12月11日(土) 14時 樹心の会
内容：勤行・お話・語り合い
お話：井上憲司さん&酒井義一住職
- ※真宗本廟奉仕団(京都市)は無期限延期します。



あとがき

▼昔ある先生が「歳を取ったらキョウヨウ(教養?)とキョウイク(教育?)が大事だ」と言われました。そういうものなのかと思っ
ていると、「キョウヨウとは、今日
用事がある、の今日用、キョウ
クとは、今日行くところがある、
の今日行く」とのこと。うまいこ
とをいうものです。そんな話をふ
と思い出すコロナ自粛生活の今。
▼平凡な生活の中で、今日の用事
を自らで何とか見つけ出さないと、
ダラダラとした生活になってしま
う、そんな毎日です。

▼境内の庭木の剪定や本堂のお仏
華立て、住所録の事務整理やご法
事の準備などなど。しかし、どれ
ほど頑張っても埋められないこと
もあります。それは、人と人との
交流やふれあい。そのことを思っ
て書いたのが2ページ目の「コロ
ナの先を見すえて」という文章。
自分に言い聞かせるために書いた
ようなものです。▼「空しさは本
当に生きたいという いのちの叫
び」その叫びを聞き続け、何がで
きるのか、具体的な歩みを模索し
続けていきたいと感じています。
(住職・釋諦信)

存明寺のHPは
こちらから↑↑↑



親鸞と出会うお寺

<https://zonmyoji.jp>



東京都世田谷区北鳥山4-15-1
真宗大谷派 存明寺
住職 酒井義一(釋諦信)
〒157-0061 TEL 03-3300-5057
FAX 03-3300-5880
E-mail : sakai@zonmyoji.jp